

平成 20 年 4 月 10 日

各 位

財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団
株式会社 西日本シティ銀行

第 35 回（平成 19 年度）経営者賞受賞者決定のお知らせ

[第 35 回経営者賞受賞者](#)が別紙の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

尚、表彰式・祝賀会は平成 20 年 4 月 24 日（木）11:00 よりグランド・ハイアット福岡にて開催予定ですので、あわせてご案内申し上げます。

以 上

【お問合せ先】

財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団
事務局 石川・清家

TEL092-473-6777 FAX:092-473-6850

（財団法人福岡文化財団 内）

第35回（平成19年度）「経営者賞」受賞者

ヤノ ヨウスケ
矢野 羊祐 氏（74歳）
YOUSUKE YANO

株式会社矢野特殊自動車 代表取締役会長
福岡県粕屋郡新宮町
1933年7月4日生

サカモト ヒロミチ
坂本 洋猷 氏（66歳）
HIROMICHI SAKAMOTO

株式会社坂本電機製作所 代表取締役社長
福岡県福岡市
1942年1月30日生

ミヤハラ タカカズ
宮原 隆和 氏（57歳）
TAKAKAZU MIYAHARA

株式会社エルム 代表取締役
鹿児島県南さつま市
1951年2月20日生

【特別賞】

スエヨシ ノリオ
末吉 紀雄 氏（63歳）
NORIO SUEYOSHI

カ・コ・ラウイストホールディングス株式会社 代表取締役CEO
福岡県福岡市
1945年2月18日生

第 35 回（平成 19 年度）経営者賞

氏 名	ヤノ ヨウスケ 矢野 羊祐 氏 (YOUSUKE YANO)																				
生年月日(年齢)	1933 年 7 月 4 日生 (74 歳)																				
会社名(役職)	株式会社矢野特殊自動車 代表取締役会長																				
所在地	〒811-0117 福岡県粕屋郡新宮町上府 1540-3																				
TEL & FAX	TEL092-963-2000 FAX092-963-1081																				
事業内容	特殊自動車の車体製造販売 (トラックシャーシーに特殊機能を持つ車体を製作、据え付けし 納入する。)																				
資本金	49 百万円																				
従業員数	388 名																				
創業・創立	創業 1922 年(大正 11 年) / 設立 1953 年(昭和 28 年)																				
工場・営業所	[工場] 本社(22,000 坪)、滋賀(15,000 坪/子会社工場) [営業所] 東京、名古屋、西宮、岡山、広島、大分、鹿児島																				
年間業績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">決算期</th> <th style="text-align: right;">売上高</th> <th style="text-align: right;">経常利益(税引後)</th> <th style="text-align: right;">自己資本比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008 年 3 月予想</td> <td style="text-align: right;">10,000 百万</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2007 年 3 月</td> <td style="text-align: right;">11,215 百万</td> <td style="text-align: right;">257 百万 (135 百万)</td> <td style="text-align: right;">21%</td> </tr> <tr> <td>2006 年 3 月</td> <td style="text-align: right;">10,727 百万</td> <td style="text-align: right;">270 百万 (133 百万)</td> <td style="text-align: right;">21%</td> </tr> <tr> <td>2005 年 3 月</td> <td style="text-align: right;">8,078 百万</td> <td style="text-align: right;">220 百万 (102 百万)</td> <td style="text-align: right;">21%</td> </tr> </tbody> </table>	決算期	売上高	経常利益(税引後)	自己資本比率	2008 年 3 月予想	10,000 百万			2007 年 3 月	11,215 百万	257 百万 (135 百万)	21%	2006 年 3 月	10,727 百万	270 百万 (133 百万)	21%	2005 年 3 月	8,078 百万	220 百万 (102 百万)	21%
決算期	売上高	経常利益(税引後)	自己資本比率																		
2008 年 3 月予想	10,000 百万																				
2007 年 3 月	11,215 百万	257 百万 (135 百万)	21%																		
2006 年 3 月	10,727 百万	270 百万 (133 百万)	21%																		
2005 年 3 月	8,078 百万	220 百万 (102 百万)	21%																		
関連会社	株式会社アルナ矢野特殊 株式会社共栄自動車サービス																				
表彰要旨	<p>当社は 1922 年(大正 11 年)、春吉にて創業者・矢野倅一氏が「関酒造機械部矢野オート工場」として設立。我が国で現存する日本最古の国産自動車第一号「アロー号」(1916 年/大正 5 年)の開発製作会社で、1958 年(昭和 33 年)には日本で初めて、食品等を運ぶ冷凍機能付の輸送車を開発。又、ワイヤー引き揚げ式ダンプカーの先駆者でもある。</p> <p>1980 年(昭和 55 年)、業務の急伸に対応すべく、本社及び工場を粕屋郡新宮町に移転。同時に(株)矢野特殊自動車に社名を変更した。現会長の矢野氏は 1990 年(平成 2 年)、30 年余りの現場管理者から 3 代目社長に、2007 年(平成 19 年)、会長に就任。常に「物づくりの会社とは？」を念頭に新</p>																				

たな技術開発に挑戦し続け、1999年(平成11年)には、より高レベルでお客様のニーズに応えるため、又、社員の参画意識を高めるため、会社組織を事業部制に変更した。併せて工場内の整備にも着手し、製造をライン化すると共にパネル製造の自動化を行い、コスト削減を図った。

特に2003年(平成15年)には、M & Aにて阪急電鉄よりアルナバン株式会社の全営業権を譲受し、関西～関東でのシェア拡大を行った。

このことにより、特装車の生産台数は子会社を含めると年間2,600台にのぼり、特に大型冷蔵車の生産シェアは30%超に拡大し、国内トップクラスを誇っている。

また、技術開発にも力を入れ、アルミサンドイッチパネルを取り入れたパネル大型冷凍車やオーロラビジョン車、国内で2社しか製作していない航空給油車や車両運搬トレーラー、全国でも例の少ない映像車、移動型理美容車、ドライブシミュレーター車などの特殊車を次々と開発し、現在取扱う車種は約60種類にのぼっている。

当社の強みは、試作品の製作から部品加工、完成品検査まで一貫した生産体制を取っており、その上、顧客に密着した開発設計・製造体制の構築に力を入れていることである。これにより、当社の先進技術力は高い評価を受けており、現在特許権取得17件、出願中のものが13件ある。

社員教育にも力を入れ、直方にある中小企業大学校への入学や、国内外のトラックショーに多数の社員を派遣している。

業績面も連結ベースで8期連続増収・増益を続けており、自己資本比率も21%と高く安定している。

現在、運送会社向けの低燃費車等、環境維持により貢献できる特殊車を開発中である。

2003年(平成15年)にISO9001:2000、2005年(平成17年)にISO14001:2004規格認証取得。

第 35 回（平成 19 年度）経営者賞

氏 名	<p style="text-align: center;">サカモト ヒロミチ 坂本 洋猷 氏 (HIROMICHI SAKAMOTO)</p>																				
生年月日(年齢)	1942 年 1 月 30 日生 (66 歳)																				
会社名(役職)	株式会社坂本電機製作所 代表取締役社長																				
所在地	〒811-0202 福岡市東区和白 3-27-55																				
TEL & FAX	TEL092-606-2731 FAX092-608-1984																				
事業内容	電気機械器具製造業 (産業用制御機器、半導体製造装置ユニット、デジタル水準器)																				
資本金	30 百万円																				
従業員数	130 名 (内パート 50 名)																				
創業・創立	創業 1945 年 (昭和 20 年) / 設立 1951 年 (昭和 26 年)																				
工場・営業所	[工場] 本社和白工場、福津市津屋崎工場 [営業所] 大阪																				
年間業績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">決算期</th> <th style="text-align: right;">売上高</th> <th style="text-align: right;">経常利益(税引後)</th> <th style="text-align: right;">自己資本比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008 年 4 月予想</td> <td style="text-align: right;">2,000 百万</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2007 年 4 月</td> <td style="text-align: right;">2,853 百万</td> <td style="text-align: right;">185 百万 (103 百万)</td> <td style="text-align: right;">21%</td> </tr> <tr> <td>2006 年 4 月</td> <td style="text-align: right;">2,176 百万</td> <td style="text-align: right;">121 百万 (67 百万)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> <tr> <td>2005 年 4 月</td> <td style="text-align: right;">2,069 百万</td> <td style="text-align: right;">61 百万 (24 百万)</td> <td style="text-align: right;">16%</td> </tr> </tbody> </table>	決算期	売上高	経常利益(税引後)	自己資本比率	2008 年 4 月予想	2,000 百万			2007 年 4 月	2,853 百万	185 百万 (103 百万)	21%	2006 年 4 月	2,176 百万	121 百万 (67 百万)	16%	2005 年 4 月	2,069 百万	61 百万 (24 百万)	16%
決算期	売上高	経常利益(税引後)	自己資本比率																		
2008 年 4 月予想	2,000 百万																				
2007 年 4 月	2,853 百万	185 百万 (103 百万)	21%																		
2006 年 4 月	2,176 百万	121 百万 (67 百万)	16%																		
2005 年 4 月	2,069 百万	61 百万 (24 百万)	16%																		
表彰要旨	<p>現社長は実兄の逝去により 1984 年(昭和 59 年)、3 代目社長として就任。当社は「お客様第一主義」「生産革新活動」を柱に事業構造の変革に取り組み、経営革新を図っている。中小企業特有の多品種少量生産であるが、先進の機械加工技術力と整理整頓された生産管理力を活かし、加工から組立まで一貫した生産工程を有することで、品質、コスト、納期に高い信頼性を誇っている。</p> <p>事業内容は、創業来の「器具事業」と半導体関連の「メカトロ事業」および部品加工の「機械事業」に分類される。</p> <p>売上の 7 割近くは半導体製造装置ユニット、デジタル水準器などのメカトロ事業が占めている。また、世界で初めての 2 軸デジタル水準器がヒット商品となり、大手自動車メーカーの精密機器、半導体製造設備などのレベル調整に使われている。同製品はオンリーワン技術で、日本をは</p>																				

じめ世界四ヵ国（アメリカ、台湾、韓国、中国）に特許出願し、うちアメリカと日本で取得している。

次に、売上の 2 割強を占める器具事業は近年、重厚長大産業の復活により、輸出を含めて活況を呈している。

研究開発部門では、大学事業創出実用化研究開発事業（N E D O 採択事業）の「水晶傾斜角センサーの実用化に関する技術開発」を、北九州産業学術推進機構（F A I S）、早稲田大学大学院情報生産システム研究科（植田研究室）及び当社の三者共同研究で取り組んでおり、小型（14mm 角の I C サイズ）高分解能（1/10000 度）の水晶傾斜角センサーの開発を目指している。これが実現すれば、マイクロマシニング技術（M E M S）によりサイズの制約から解放され、あらゆる機器に搭載可能となる。この研究開発は 2006 年～2008 年度で実施されており、2008 年度には量産化技術を確立し、2009 年度には販売開始を予定しており、将来は売上規模 100 億円を想定している。

直近の設備投資としては、2006 年（平成 18 年）5 月に津屋崎工場（土地 1,443 坪）が竣工。大型クリーンルームを稼働させ、先端産業企業のユニット生産工場としての業容拡大を図っている。

業績は、2007 年度まで 4 期連続増収増益で推移しており、自己資本比率も 21%と安定している。社員のモチベーションも高く、また礼儀正しく明るい職場でもある。

2002 年（平成 14 年）に ISO9001、2004 年（平成 16 年）に ISO14001 認証取得。

第 35 回（平成 19 年度）経営者賞

氏 名	<small>ミヤハラ タカカズ</small> 宮原 隆和 氏 (TAKAKAZU MIYAHARA)			
生年月日(年齢)	1951 年 2 月 20 日生 (57 歳)			
会社名(役職)	株式会社エルム 代表取締役			
所在地	〒811-0202 鹿児島県南さつま市加世田武田 15248-11			
TEL & FAX	TEL0993-53-6930 FAX0993-53-7160			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子応用機器製造販売 ・ 産業用省力化装置製造販売 ・ 光ディスク修復装置製造販売 ・ パーソナルコンピューター販売・プログラム開発 			
資本金	48 百万円			
従業員数	36 名			
創業・創立	創業 1977 年（昭和 52 年） / 設立 1980 年（昭和 55 年）			
工場・営業所	鹿児島営業所（鹿児島市田上）			
年間業績	決算期	売上高	経常利益(税引後)	自己資本比率
	2008 年 8 月予想	1,250 百万		
	2007 年 8 月	1,181 百万	154 百万 (84 百万)	38%
	2006 年 8 月	1,002 百万	89 百万 (33 百万)	33%
	2005 年 8 月	1,016 百万	119 百万 (25 百万)	28%
表彰要旨	<p>当社は、音が飛んだり再生が出来なくなった CD や DVD 等を 2 分～5 分で新品同様に修復する「全自動光ディスク修復機」を開発し、現在世界 28 ヶ国に商社等を通さず輸出し、年間約 8 億円の売上がある。</p> <p>自動及び全自動修復機では世界市場をほぼ独占しており、例えばアメリカの大きな図書館の殆どに同社の修復機が納入されている。</p> <p>社長の宮原氏は創業以来「ものづくり」、「下請けをしない」、「鹿児島から世界に」にこだわり続け、「電気・機械・ソフト」の 3 技術部門をバランス良く持つ事により、農業用機械から先端技術機械まで数多くの全国初・世界初の機械を生み出してきた。鹿児島県が全国 2 位の生産高を誇るオクラの「ネット包装機」や「パソコン用熟語プログラム」、「気象</p>			

衛星ノアの画像受信システム」、「海苔の異物検査用カメラ」、「ソラマメの選別包装機」等、現在まで100品目以上の製品を開発し、特許を30件以上出願・取得している。

販売は、日本、韓国、スペイン（EU、北アフリカ、東欧、中欧向け）、米国（北米、オセアニア向け）の販売代理店を通じて、世界28カ国を結ぶ販売網が構築され、鹿児島県南さつま市から世界へ向けて新しい技術・製品が発信されている。

業績面も、収益力が高く、流動比率も良好で自己資本と共に、財務の安全性が確保されている。

一方、自社の業績発展のみならず、地域産業発展にも寄与しており、これまで「九州産業技術センター優秀賞」、県商工会議所より「産業経済賞大賞」を、又、経済産業省より「第2回ものづくり日本大賞優秀賞」等多数受賞し、2006年(平成18年)には、「明日の日本を支える元気なもののづくり中小企業300社」、2008年(平成20年)には「農商工連携88選」に選定された。

現在、ビデオレンタル店向けに開発した皮脂等で汚れたディスクをクリーニングする「光ディスク清掃機」、一般家庭の室内で花や野菜の苗を作れる装置、ホテル等のダウンライトに使うLED電球（電気代が1/12になり寿命は5年）等、将来を見据えた製品開発を行っている。

「光ディスク修復機」とは

傷が付き、音が飛んだり再生できなくなったりしたCDやDVDの傷のついた表面を削り取り鏡面に磨く事により修理する機械のことで、目の粗さの違う4種類の紙ヤスリを順番にかけ、押し当てる強さや磨く方向をコンピューターで調節する。削りカスを洗い流す水の浄化装置も内蔵し、排水は再利用されるようになっている。

深さ0.01ミリの深い傷でもCDで30回、DVDで10回程度は繰り返し修復出来る。(60万円～180万円)

第 35 回（平成 19 年度）経営者賞・特別賞

氏 名	スエヨシ ノリオ 末吉 紀雄 氏 (NORIO SUEYOSHI)																				
生年月日(年齢)	1945 年 2 月 18 日生 (63 歳)																				
会社名(役職)	コカ・コーラウエストホールディングス株式会社 代表取締役 CEO																				
本店	〒812-8650 福岡市東区箱崎 7-9-66 TEL092-641-8581 FAX092-632-5659																				
福岡本社	〒812-8649 福岡市博多区住吉 1-2-25 キャナルシティ・ビジュアルセンタービル 5 階 TEL092-283-5711 FAX092-283-5729																				
事業内容	飲料・食品の製造、販売																				
資本金	15,231 百万円 (平成 19 年 12 月 31 日現在)																				
従業員数 連結	8,420 名 (平成 19 年 12 月 31 日現在)																				
創業・創立	設立 1960 年 (昭和 35 年)																				
営業エリア	北部九州 3 県、中国 5 県、近畿 2 府 4 県																				
年間業績 連結	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">決算期</th> <th style="text-align: right;">売上高</th> <th style="text-align: right;">経常利益(純利益)</th> <th style="text-align: right;">自己資本比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008 年 12 月予想</td> <td style="text-align: right;">425,000 百万</td> <td style="text-align: right;">18,500 百万 (10,100 百万)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2007 年 12 月</td> <td style="text-align: right;">409,521 百万</td> <td style="text-align: right;">17,493 百万 (9,375 百万)</td> <td style="text-align: right;">80.5%</td> </tr> <tr> <td>2006 年 12 月</td> <td style="text-align: right;">327,821 百万</td> <td style="text-align: right;">13,225 百万 (7,570 百万)</td> <td style="text-align: right;">82.1%</td> </tr> <tr> <td>2005 年 12 月</td> <td style="text-align: right;">245,874 百万</td> <td style="text-align: right;">12,256 百万 (7,305 百万)</td> <td style="text-align: right;">83.2%</td> </tr> </tbody> </table>	決算期	売上高	経常利益(純利益)	自己資本比率	2008 年 12 月予想	425,000 百万	18,500 百万 (10,100 百万)		2007 年 12 月	409,521 百万	17,493 百万 (9,375 百万)	80.5%	2006 年 12 月	327,821 百万	13,225 百万 (7,570 百万)	82.1%	2005 年 12 月	245,874 百万	12,256 百万 (7,305 百万)	83.2%
決算期	売上高	経常利益(純利益)	自己資本比率																		
2008 年 12 月予想	425,000 百万	18,500 百万 (10,100 百万)																			
2007 年 12 月	409,521 百万	17,493 百万 (9,375 百万)	80.5%																		
2006 年 12 月	327,821 百万	13,225 百万 (7,570 百万)	82.1%																		
2005 年 12 月	245,874 百万	12,256 百万 (7,305 百万)	83.2%																		
子会社	<ul style="list-style-type: none"> ・ コカ・コーラウエストジャパン(株) ・ 近畿コカ・コーラボトリング(株) ・ 三笠コカ・コーラボトリング(株) ・ コカ・コーラウエストプロダクツ(株) ・ コカ・コーラウエストロジスティクス(株) ・ コカ・コーラウエスト販売機器サービス(株) 他 																				
表彰要旨	末吉氏は 2002 年(平成 14 年)、コカ・コーラウエストジャパン(株)代表取締役社長兼 CEO に就任。2006 年(平成 18 年)、近畿コカ・コーラボトリングとの経営統合により、コカ・コーラウエストホールディングス(株)代表取締役 CEO に就任。																				

競合メーカーとの競争激化や小売業の業態変化・広域化等、清涼飲料市場における環境が激変する中、1999年山陽コカ・コーラボトリングとの合併、2001年には、三笠コカ・コーラボトリングを子会社化、2006年には近畿コカ・コーラボトリングとの経営統合を行ってきた。更には、2007年に、九州が一体となることで営業力を強化し、かつ効率的な経営を行うことを可能とするため、南九州コカ・コーラボトリングと資本業務提携を行った。

これにより、営業エリアは南九州も併せ、四国と沖縄を除く西日本全域(2府16県)に広がり、日本におけるコカ・コーラグループNO.1の地位を固めた。

営業エリア内人口は4,200万人、自動販売機台数30万台、販売数量は年間2億ケースと、日本におけるコカ・コーラグループ売上の約3割を占め、売上高は世界の上場ボトラーの中で4番目の規模である。2007年には傘下の物流会社3社、本年1月には製造会社2社、4月には販売機器サービス3社をそれぞれ統合する等、コカ・コーラウエストグループの経営効率化・体制強化に継続的に取り組んでいる。

営業活動のみならず、常に社会の一員としての立場で考え行動する「企業市民」を目指し、さまざまな「地域社会貢献活動」、「地域環境推進活動」を展開している。この活動を継続性のあるものとするために、株主の理解を得て剰余金の中から毎年一定額を積み立てている。

地域社会貢献活動としては、「社会福祉」、「スポーツ活動」、「文化教育活動」、「地域大型イベント」の4つの活動を実施し、「特別支援学校へ教材の贈呈」、「小学校へ輪車の贈呈」、又、「さわやかクラシックコンサート・ファミリーミュージカル」の開催、昨年は「IAAF世界陸上競技選手権大阪大会」のサポート等を行っている。

あわせて環境推進活動においては、本年4月北九州市エコタウン内に廃棄自動販売機リサイクル施設を建設。また、水に接する企業として、水源涵養林の保全への取組みや、生き物が生息出来る場所(ビオトープ)作り、植林支援等、地域社会の環境保全にも貢献している。